

法務大臣 殿  
東京入国管理局長 殿

### クリスチャンちゃん・シーランちゃん家族の在留特別許可を求める請願書

貴職におかれましては、私たちの生命と暮らしを守る大切な職務に日々ご尽力いただき心から感謝申し上げます。さて、子どもとその両親が共に安心して暮らしたい、これはごく当たり前の願いであり、日本の批准している「児童の権利に関する条約」でも保障されているところです。しかし、ここにそれが脅かされている家族がいるのです。

私たちの友人でトルコ国籍のクルド人、ムスタファ・チョラクさん、その妻でフィリピン人のエヴァンジェリンさん、ふたりの子ども、クリスチャンちゃんとシーランちゃんの4人家族は現在、東京都板橋区にある難民の家「JELAハウス」に暮らしています。

父親のムスタファさんは1993年来日してすでに14年になり、この間、民族的迫害を受け続けているクルド人として難民認定と在留特別許可を求めてきました。幼少時よりトルコ軍や警察によるクルド人に対する虐待を目撃してきたムスタファさんは、クルド民族の人間としての権利を主張したために警察に逮捕されて激しい拷問を加えられ、その後も監視され続けました。生命の危険を感じて難民として日本へ逃れてきた彼の帰国は、再び迫害を受ける危険がきわめて高く、人権擁護の立場からとうてい考えられません。彼に強制退去の命令が下されて以来、私たちは友人としておよそ16,000名の請願署名を提出するなどして支援してまいりましたが、いまだに在留許可は得られていません。

母親のエヴァンジェリンさんも、ムスタファさんの妻としてやはり在留特別許可を求めています。夫とは日本で知り合い結婚しましたが、出産後に癌が発覚。現在、夫のムスタファさんとともに入院や手術などによってできた借金を返済しながら、懸命に子育てをしています。

彼らの娘、クリスチャンちゃん(7歳)とシーランちゃん(6歳)は、ともに日本で生まれ、日本語しか話せず、日本で健やかに育っています。長女のクリスチャンちゃんは他の日本人と同様に地元の小学校に通っています。もし、このまま一家に対する強制退去が実行されれば、国籍の異なるムスタファ一家は離散の危機に直面し、子どもたちは親と引き裂かれ、その健やかな成長は阻まれてしまいます。基本的人権を尊重する我が国で、そのような仕打ちは決して許されません。

日本国憲法の理念を踏まえ、この親子が安心して日本で暮らせるように、クリスチャンちゃん・シーランちゃん・ムスタファさん・エヴァンジェリンさんの4人に在留特別許可をいただきたく、格別なるご理解とご英断を心からお願い申し上げます。

2007年 9月 1日

クリスチャンちゃん・シーランちゃん家族を支援する会 代表 若林 敏明

e-mail [wakaba@janis.or.jp](mailto:wakaba@janis.or.jp) 携帯 090-4094-2870

連絡先(署名とりまとめ先) 〒140-0002 東京都品川区東五反田 1-13-12 五反田法律事務所

TEL03-3447-1361 FAX03-3447-1538 田島 浩

### クリスチャンちゃん・シーランちゃん家族の在留特別許可を求める請願署名

お名前	ご住所

ご協力ありがとうございます